

「令和4年度国費に係る歯科口腔保健推進強化事業」  
(5)災害時の口腔ケア推進事業  
災害対策研修会～宮崎県災害歯科保健医療連絡協議会発足に向けて

## 災害歯科保健医療対応に関わる 機能的な地域連携をつくるために

2023年2月9日(木) 19:30～21:00 (うち40分)

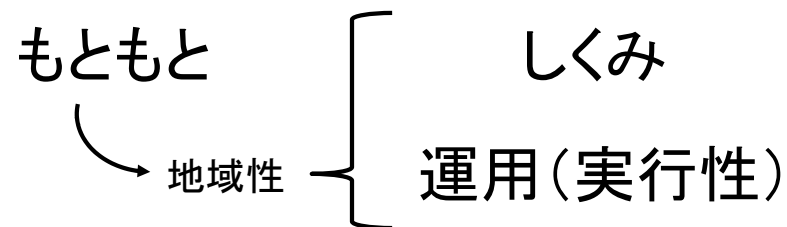
宮崎県歯科医師会館

東京医科歯科大学 救急災害医学分野 非常勤講師(客員教授)  
千葉大学 大学院 医学研究院 法医学 特任研究員  
岩手医科大学歯学部・長崎大学歯学部 非常勤講師  
日本災害時公衆衛生歯科研究会 世話人  
中久木 康一  
nakakuki@biglobe.jp

医師や看護師が  
歯科を理解してくれない

## 災害時の 地域連携

### 地域連携 + 災害



歯科が(努力せずに)理解されること  
は、絶対にありません

- 保健医療全体の中では、歯科は小さな分野です
- 全国82の医学部の中で、歯学部もある大学は14(17%, 国立11, 私立3)しかありません
- 看護師学校・養成校に至っては全国に1000以上あり、年間60,000人近くが看護師になります
- 医師は年間9,000人増えます。
- 歯科医師は年間2,000人、歯科衛生士は年間7,000人です

医療関連			
医師	33万7,625人 (就業者数※1)	言語聴覚士	17,905人 (就業者数※3)
歯科医師	10万6,223人 (就業者数※1)	視能訓練士	10,130人 (就業者数※3)
薬剤師	31万158人 (就業者数※1)	臨床工学技士	30,409人 (就業者数※3)
保健師	64,819人 (就業者数※2)	義肢装具士	128人 (就業者数※3)
助産師	40,632人 (就業者数※2)	歯科衛生士	14万2,760人 (就業者数※4)
看護師	127万2,024人 (就業者数※2)	歯科技工士	34,826人 (就業者数※4)
診療放射線技師	55,624人 (就業者数※3)	救急救命士	66,899人 (免許登録者数※5)
臨床検査技師	67,752人 (就業者数※3)	あん摩マッサージ指圧師	11万8,103人 (就業者数※4)
理学療法士	10万965人 (就業者数※3)	はり師	12万6,798人 (就業者数※4)
作業療法士	51,056人 (就業者数※3)	きゅう師	12万4,956人 (就業者数※4)

※1 「令和2年医師・歯科医師・薬剤師統計」 ※4 「令和2年度厚生行政報告例」 ※7 常勤及び非常勤の数、「社会福祉施設等調査」、2020年10月1日現在  
 ※2 医政局調べ、2019年現在 ※5 医政局調べ、2022年3月現在 ※8 (公益財団法人) 社会福祉振興・試験センター、2022年3月末現在  
 ※3 常勤換算、医療施設(病院・診療所)で勤務する者、「令和2年医療施設調査」 ※6 健康局調べ、2021年12月現在 ※9 (一般財団法人) 日本心理研修センター、2022年3月末現在

(注) 多様な人材が活躍する中において、令和4年版厚生労働白書第1部では、医療・福祉サービス提供のニーズの高まりを踏まえ、重要課題として担い手の養成・確保に取り組んできた人材を取り上げ、その成果を見ることとしている。

令和4年版厚生労働白書(令和3年度厚生労働行政年次報告)

## 歯科の実体験も少なくなっている

- 医療者の多くは、ヘルスリテラシーが高い  
リテラシーが高いく育ちがいい
- 医療者の門は高所得者層側にシフトしつつある(国立大学の学費も上昇、看護の4年生大学化と准看護師養成校の減少)
- 核家族化＝同居高齢者が少ない
- フッ化物の恩恵

歯科がわかりやすくならなければ、誰も理解してくれない

## Q:どっちが入りやすいですか？

- 外から中が見えない  
小さな個人商店
- 連絡先は電話のみ、  
自社ホームページ無し、  
入ってみないと、  
対応サービス内容が  
わからない
- 時に、店主の都合で  
臨時休業だと、店の  
前に貼られている
- ガラス張りで明るく広い  
チェーン店
- インターネットで、  
サービスの内容や、  
対応時間、問合せ先  
などが、整理されて示  
されている
- その商店の組織の内  
容や情報公開されて  
いる

## なぜ？

- 統一されたサービスだからこそ、置いてあるものは想像つき、品切れしない十分なボリュームがありそう
- 必要時取り寄せや他店紹介をしてくれそう
- 統一された方針に基づいた責任ある品質を提供していそう
- 困った時の対応も、法に則って適切にしてくれそうで、信頼できそう

## 日本災害歯科保健医療連絡協議会

- 統一された方針の下にひとつにまとまっていれば、情報は見える化され、わかりやすくなり、活用されやすくなる
- 2015年度から、日本災害歯科保健医療連絡協議会が組織された
- 行動指針を作成し、共通用紙を作製し、方針の統一化を測っている

### 日本災害歯科保健医療連絡協議会 ※平成27年4月設置

#### <目的>

大規模震災後の避難所・仮設住宅、被災者等への歯科保健医療の提供は、(急性期から慢性期)に至るまで、様々な歯科関係職種の**継続的な支援**が必要である。

そのため、日本歯科医師会主導の下、**歯科関係団体同士の連携**や災害対応に関する**認識の共通化**を図るとともに、各歯科団体独自の行動計画等の**情報集約**や**共有**を促し、有事に際して**国や都道府県との連携調整**を行い、被災地の歯科医療救護や被災者の歯科支援活動を**迅速に効率よく**行うべく、協議していく。

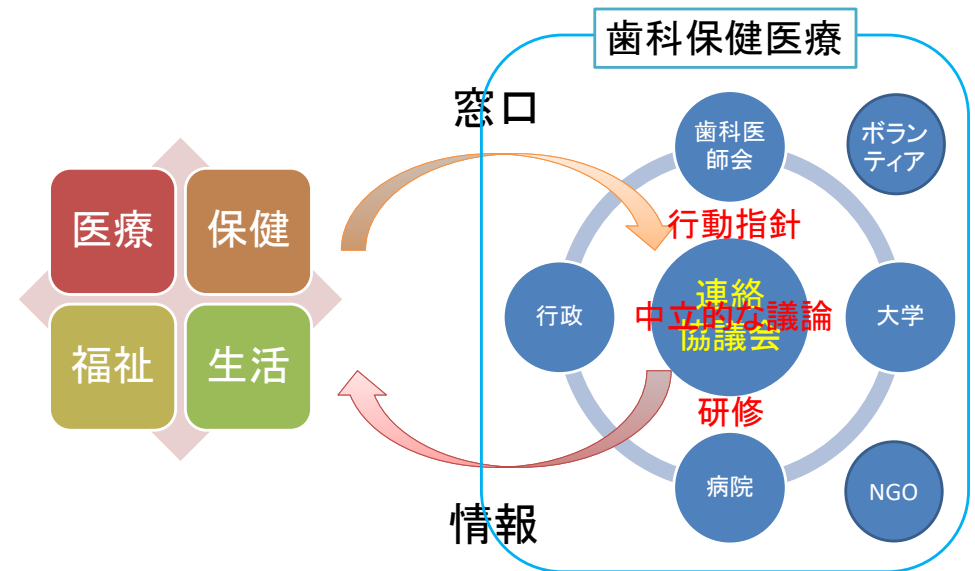
#### <参画団体>

- ①日本歯科医師会
- ②日本歯科医学会
- ③日本私立歯科大学協会
- ④国立大学歯学部長・歯学部附属病院長会議
- ⑤全国医学部附属病院歯科口腔外科科長会議
- ⑥日本病院歯科口腔外科協議会
- ⑦日本歯科衛生士会
- ⑧日本歯科技工士会
- ⑨全国行政歯科技術職連絡会
- ⑩日本歯科商工協会

※オブザーバー: 内閣府、厚生労働省、日本医師会(JMAT関係者)、防衛省ほか

## 日本災害歯科保健医療連絡協議会

2015年4月～



災害時避難所等  
口腔保健アセスメント票

項目	
基本情報	
対象者	避難者数 高リスク者数
(1) 歯科医療	歯科保健医療の確保状況
(2) 環境	水・洗口場の確保状況
(3) 用具	歯ブラシ・歯磨剤の確保状況
(4) 行動	口腔衛生行動 介助の有無
(5) 症状	痛みや不自由さの有無
その他	

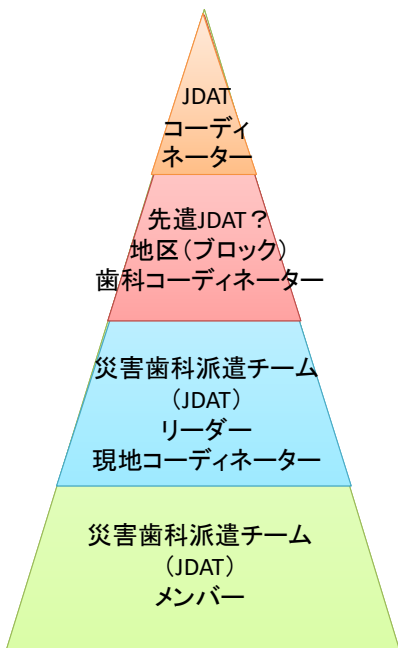
項目	確認項目 (確保状況)	評価	対応 (標準)
(1) 歯科医療の確保	① 歯科医師・歯科衛生士 1名以上 (2名以上) ② 歯科診療機器 ③ 歯科診療スペース (1名あたり1-2名)	◎ (1名以上) ◎ (2名以上) ◎ (2名以上) ◎ (2名以上)	歯科医師・歯科衛生士の確保状況、歯科診療機器の確保状況、歯科診療スペースの確保状況
(2) 環境	① 水道設備 ② 洗面設備 ③ 排水設備	◎ ◎ ◎	水道設備の確保状況、洗面設備の確保状況、排水設備の確保状況
(3) 用具	① 歯ブラシ (個人用) ② 歯磨剤 (個人用) ③ 歯ブラシ (公共用) ④ 歯磨剤 (公共用) ⑤ 歯ブラシ (共有) ⑥ 歯磨剤 (共有)	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	歯ブラシ (個人用) の確保状況、歯磨剤 (個人用) の確保状況、歯ブラシ (公共用) の確保状況、歯磨剤 (公共用) の確保状況、歯ブラシ (共有) の確保状況、歯磨剤 (共有) の確保状況
(4) 行動	① 歯磨きの習慣 ② 歯磨きの時間 ③ 歯磨きの回数 ④ 歯磨きの場所	◎ ◎ ◎ ◎	歯磨きの習慣の確保状況、歯磨きの時間の確保状況、歯磨きの回数の確保状況、歯磨きの場所の確保状況
(5) 症状	① 歯痛 ② 歯の痛み ③ 歯の腫れ ④ 歯の出血 ⑤ 歯の腐り ⑥ 歯の欠け	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	歯痛の確保状況、歯の痛みの確保状況、歯の腫れの確保状況、歯の出血の確保状況、歯の腐りの確保状況、歯の欠けの確保状況

研修会

- 2018年度からは厚生労働省補助金事業での研修会を開催
- 2021年度には災害歯科保健医療標準テキストも発刊



災害歯科保健医療 研修(私案)



日歯と地区(ブロック)、日歯と県歯  
歯科と多組織・多職種

自県(歯)と他県歯、県歯と地区(ブロック)  
県歯コーディネーターのコーディネート  
サポート

JDATリーダー／現地コーディネーター  
組織での研修会の主催

- アドバンス研修会(オンライン), 2020年度～

市町村における災害歯科支援活動実務  
被災県内・外からのJDATメンバー

- 体制研修会, 2018年度～
- 日歯災害歯科コーディネーター研修会

JDAT, 日本災害歯科支援チーム  
(Japan Dental Alliance Team)

JDAT (Japan Dental Alliance Team): 日本災害歯科支援チームは、災害発生後おおむね72時間以降に地域歯科保健医療専門職により行われる、緊急災害歯科医療や避難所等における口腔衛生を中心とした公衆衛生活動を支援することを通じて被災者の健康を守り、地域歯科医療の復旧を支援すること等を目的として、令和4年(2022年)3月2日に日本災害歯科保健医療連絡協議会が創設しました。

# JDAT の 目的

- 大学なども含めて歯科が一枚岩として統一性、継続性を持つ
- 普段から関わっている地元を中心に動かす

# JDAT 平常時・災害時

## 平常時

- 研修と、体制整備
- 地域の災害対策や防災訓練に積極的に参画

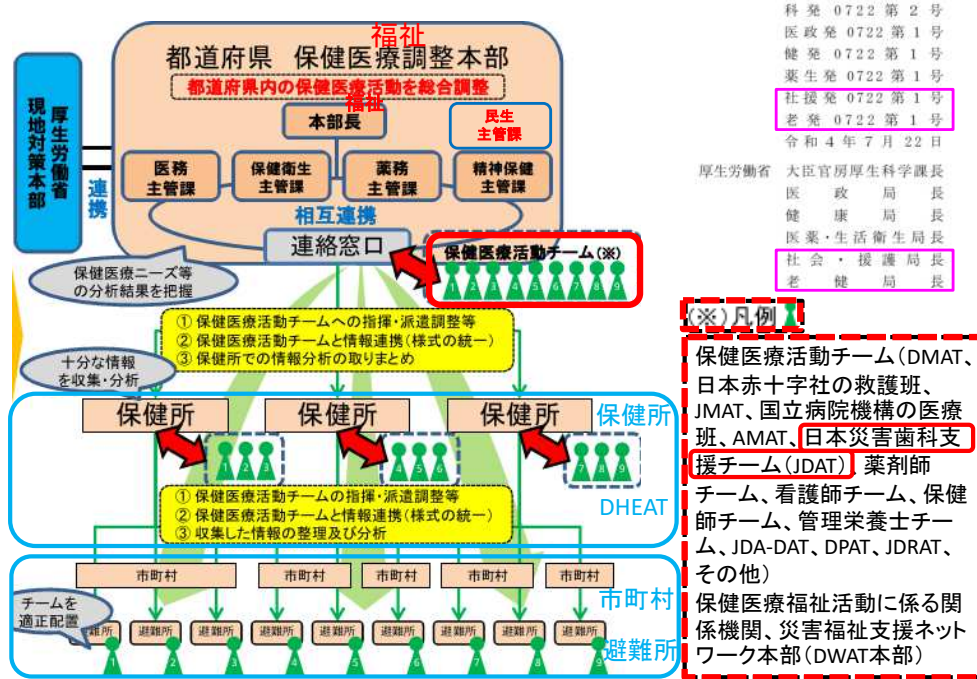
## 災害時

- 緊急災害歯科医療や避難所等における口腔衛生を中心とした公衆衛生活動を支援
- JMATなどの医療チームの歯科との連携

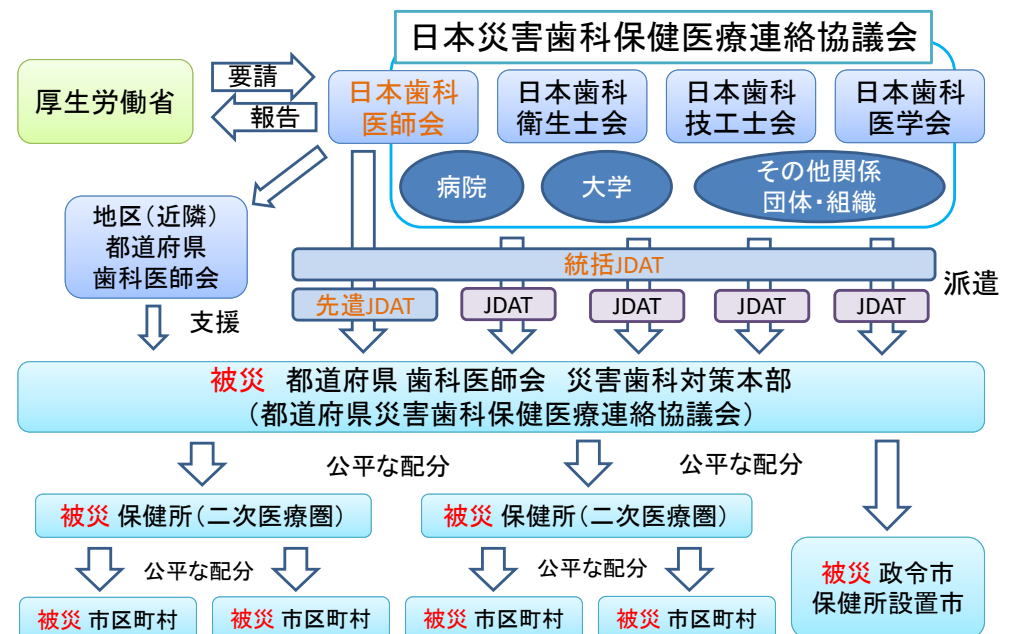
## 被災時

- 地域の情報を繋ぐ
- 必要時は支援チームの派遣要請を提言
- 現地支援活動コーディネーターとして受援

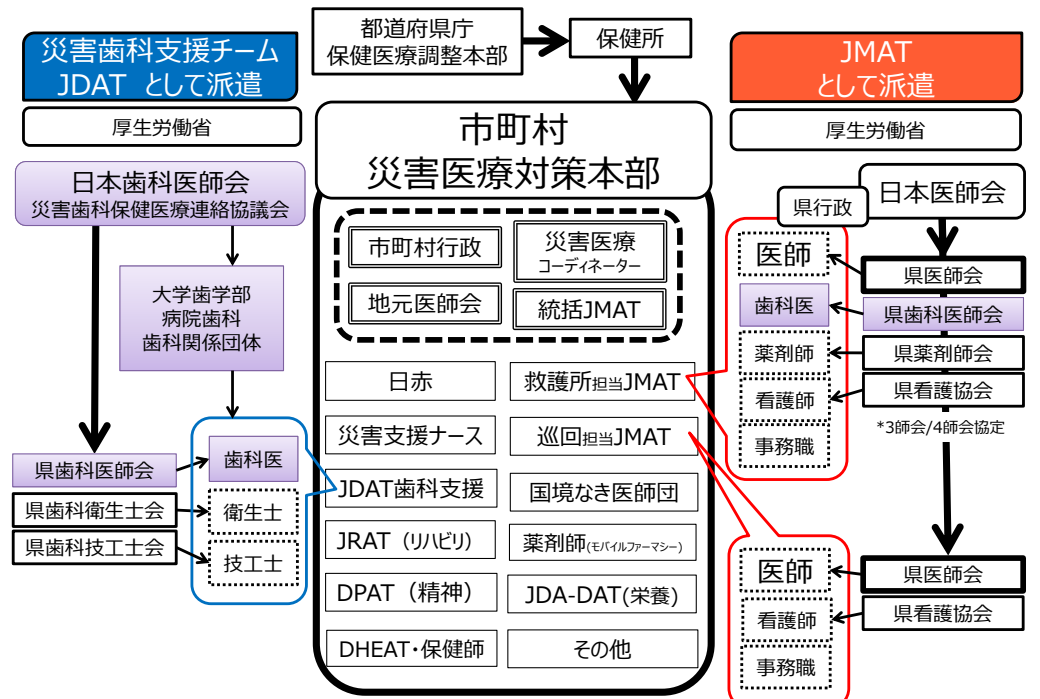
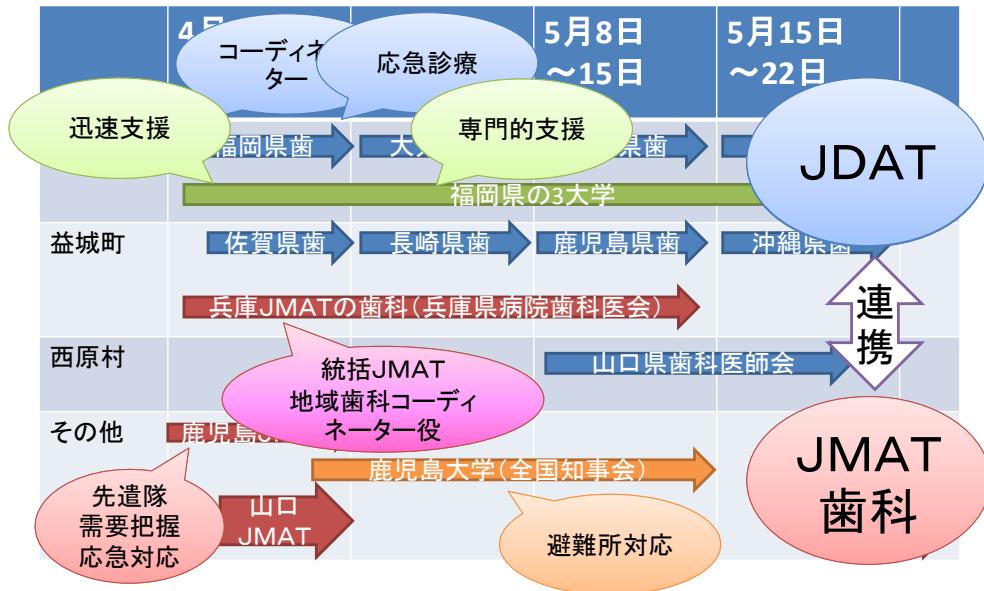
## 大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制の整備について



## 発災時のJDAT(支援・統括・先遣)派遣の流れ



# 平成28年熊本地震 歯科支援 外部派遣チーム一覧



門井謙典(兵庫医科大学歯科口腔外科)作成資料より改変

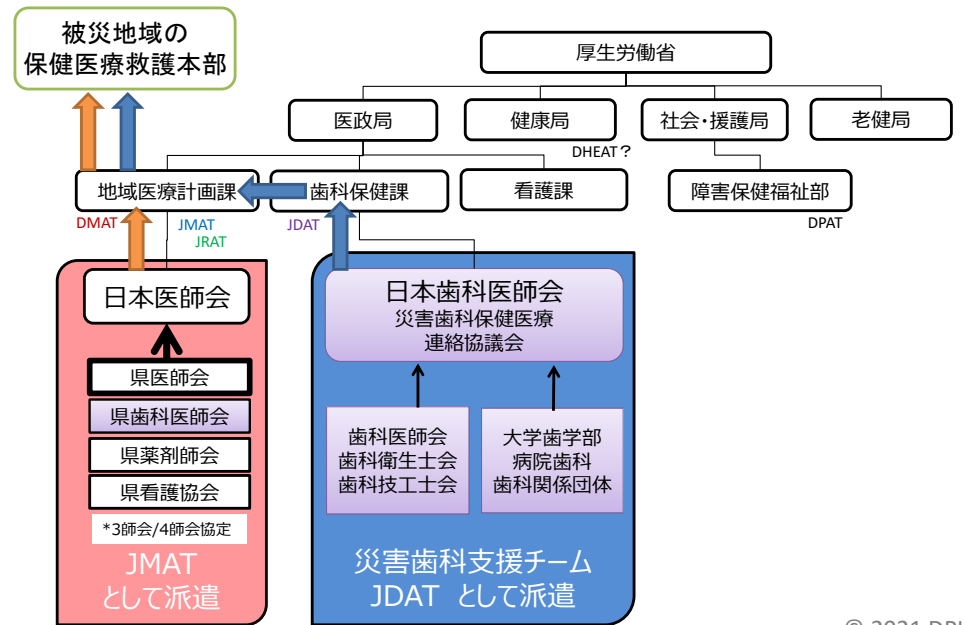
災害歯科保健医療標準テキスト(一世出版, 2021)より引用

	歯科支援チーム JDAT	JMATの歯科
イニシアチブ	県歯科医師会	県医師会
派遣主体元	日本歯科医師会・連絡協議会	日本医師会
チームの職種	歯科医師、歯科衛生士など	医師、看護師、薬剤師、歯科医師、事務職など
関係する機関	日本歯科医師会、県歯科医師会、県歯科衛生士会、県歯科技工士会など	日本医師会、県医師会、県看護協会、県薬剤師会、県歯科医師会、県行政など
派遣先・派遣時期の調整、決定	県歯(災害歯科対策本部)が主体	県医が主体
交通手段・宿泊の確保	県歯(災害歯科対策本部)で	県医もしくは県歯で
活動内容	歯科医療救護(歯科器材携帯), 口腔ケア, 歯科保健活動	他職種連携した支援, 歯科単独の支援は困難な場合も(歯科器材不携帯)
派遣先歯科医師会との連携	連携スムーズ	連携困難な場合も
保険	県歯(日歯)で	JMATのスキームで
備考		県行政との協定や3師会or4師会協定に詳細規定あればスムーズ

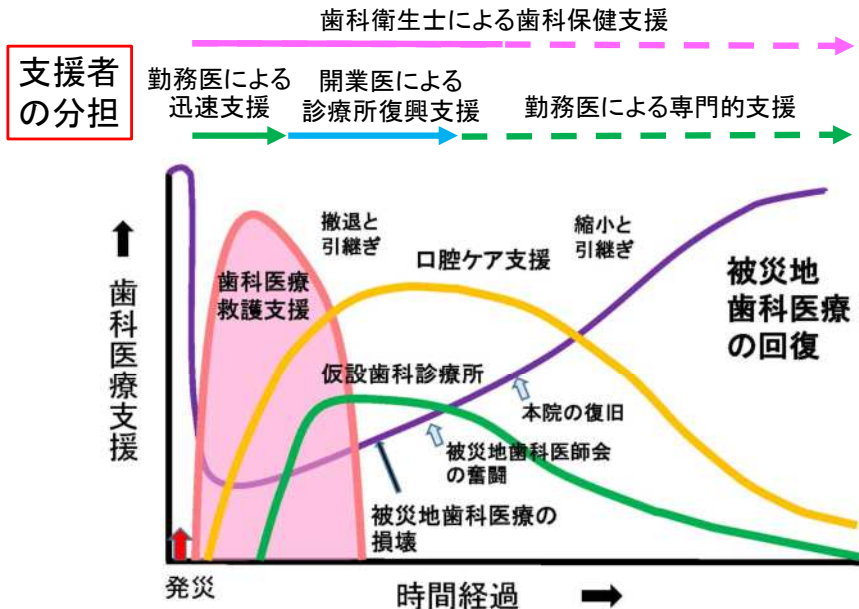
門井謙典(兵庫医科大学歯科口腔外科)作成資料より改変

災害歯科保健医療標準テキスト(一世出版, 2021)より引用

## JDAT × JMAT 歯科



# 支援内容の時間経過と、支援者における分担



大黒英貴, 災害歯科医学, P58, 医歯薬出版, 2018 より改変

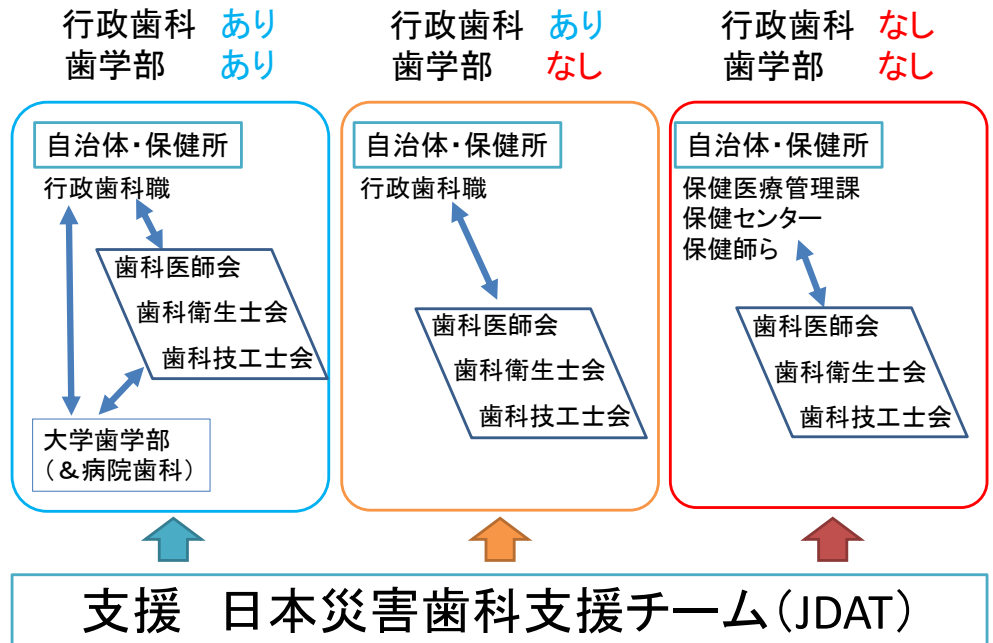
# 歯科における連携

行政歯科職 (自治体・保健所)	マネジメント [歯科医師] 配備(2014) 県型保健所3.5%、市町村0.4% [歯科衛生士] 県型保健所28.6%、市町村16.5%
歯科医師会	診療所の復旧を優先したうえで、 地域へのマネジメント
大学歯学部 (&病院歯科)	18県・29校(国立11・公立1・私立17) 迅速対応と歯科医療救護
派遣歯科専門職 & 歯科衛生士会	避難所等地域における 歯科保健医療支援活動の実働 加入率20%前後
歯科衛生士会 & 大学歯学部	中長期的対応

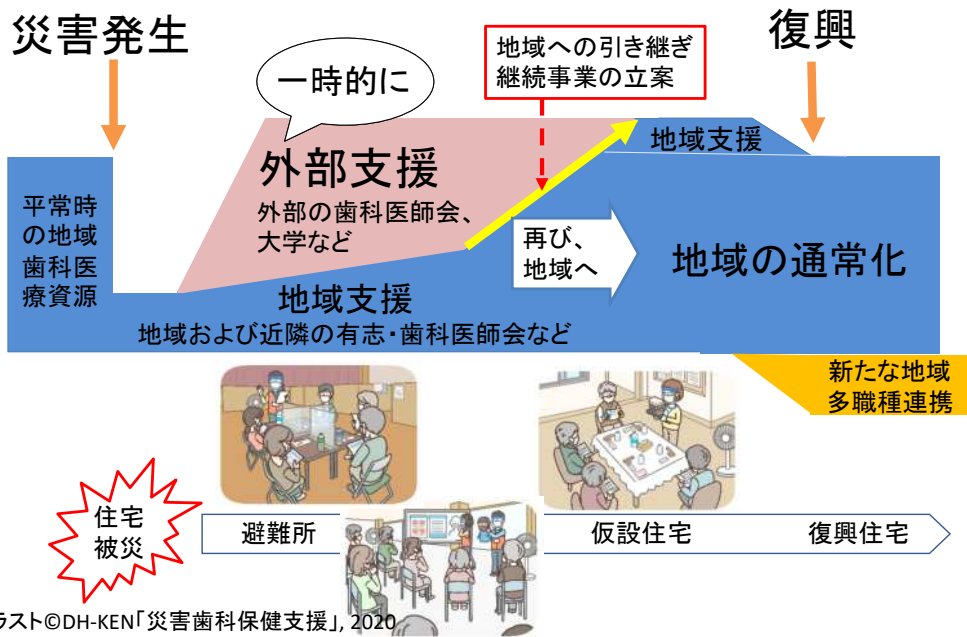
# JDAT Japan Dental Alliance Team 日本災害歯科支援チーム 名前の所以

- あくまでもJapan統一
- だからこそAssociationではなくAlliance
- Dental=DDS+DH+DT  
(DTは災害救助法には記載されていない)

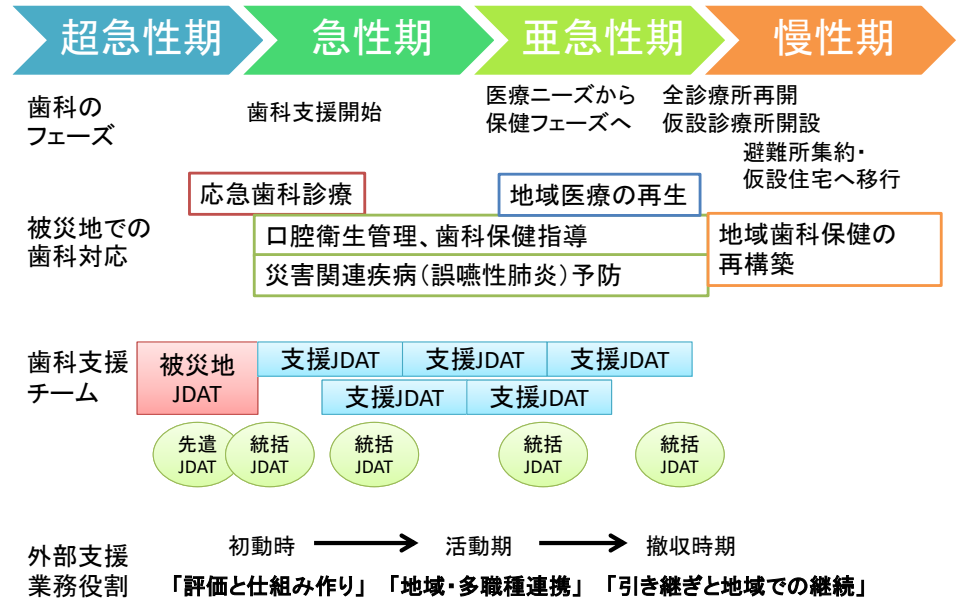
# 被災自治体における歯科保健医療支援



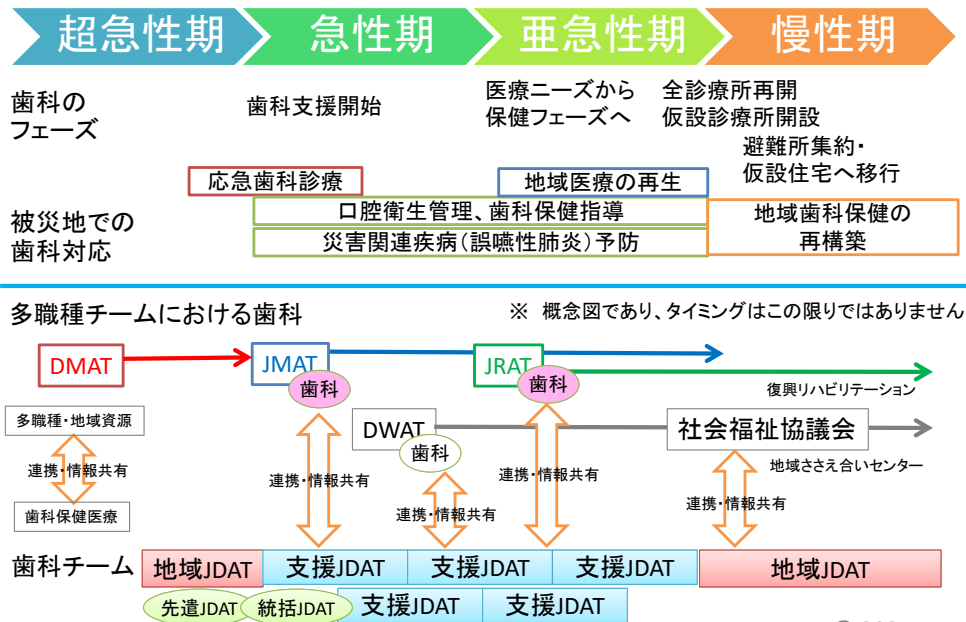
# 災害時歯科支援の引き継ぎへの流れ



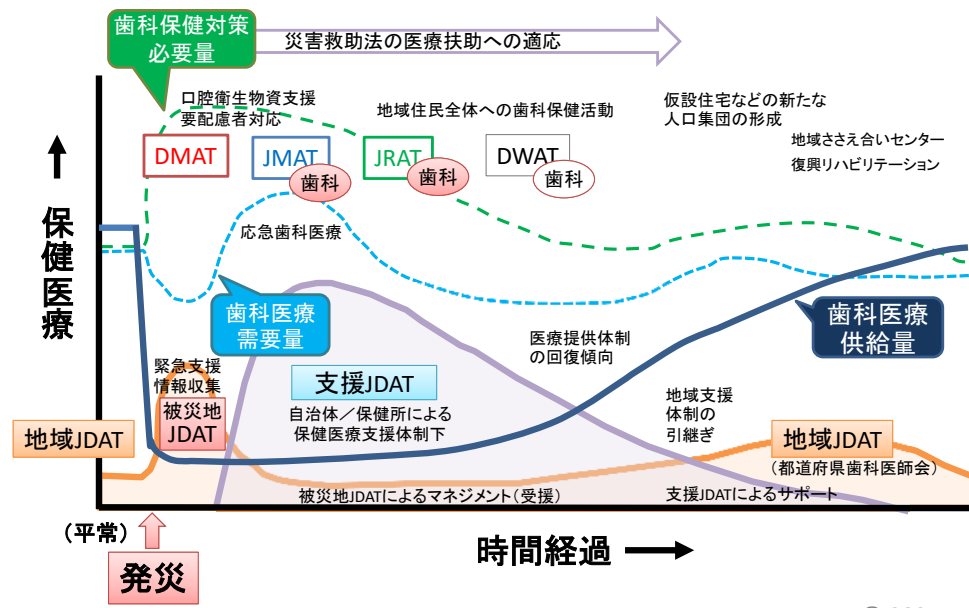
# 歯科対応・歯科支援チームと役割の推移



# 多職種チームと歯科チームとの連携



# 災害時の地域における JDAT の連携 (地域 × 支援)





# 災害時の歯科保健医療体制

歯科医療活動		歯科保健活動
今、困っている人	対象	今は、なんともない人
あり	本人のニーズ	なし
歯が痛い人 歯ぐきが腫れた人 通院中の人 義歯破損・不適合の人	対象	特に重要なのは要配慮者 高齢者(摂食・嚥下障害など) 有病者(糖尿病など)／障がい者 乳幼児・小児／妊婦
痛みをとり、 適切に食事ができるようにする	目的	口腔感染症予防、むし歯予防、歯 周病予防、誤嚥性肺炎予防
応急歯科診療 歯科受診への調整	やること	口腔ケア、口腔ケア啓発 お口の体操、健康教育
災害拠点病院 DMAT / JMAT 日赤 etc.	連携	自治体 保健所 保健センター etc.

## 地域保健医療体制の回復

歯科医院・病院歯科の再開      自治体の歯科保健サービスの再開

これでもう、運用できる？

水分・塩分  
補給

食中毒  
注意

うがい  
歯みがき

マスク着用

### 被災者の皆さまへ 避難所生活で健康に過ごすために ～以下の点にご注意ください～

- ① 水分・塩分補給**  
をこまめに  
トイレを数回して水を飲む習慣が大切です。こまめな水分・塩分補給で熱中症予防をしましょう。
- ② 手を清潔に**  
食事の前やトイレの後には手洗いを。流水が確保できないときは、アルコールを含んだ手擦消毒液を使用しましょう。
- ③ 食中毒に注意!**  
出された食事はすぐに食べましょう。下痢、発熱、手指に傷がある人は、調理や配食を行わないようにしましょう。
- ④ 体の運動**  
エコノミークラス症候群の予防、寝たきりの予防のためにも積極的に体を動かしましょう。
- ⑤ うがい・歯磨き**  
うがい、歯磨きをできるだけ行い、かぜの予防、口の中の衛生を保ちましょう。
- ⑥ 十分な睡眠・休息**  
誰もが不安を感じています。休息や睡眠を意識してとりましょう。
- ⑦ 必要なときは、マスクを着用**  
咳をしているときや、アレルギーの原因となるほこりを避けるために、必要なときはマスクを使いましょう。
- ⑧ 薬で困っている場合は相談を**  
薬が手元になかったり、薬で困っているときは、医師、薬剤師、保健師などに相談を。

手の清潔

体の運動

十分な睡眠・休息

薬剤  
(体調管理)

妊産婦・乳幼児  
特殊食品

次の方は避難所の事務所に申し出ましょう  
厚生労働省  
MHLW  
妊産中の方  
マタニティマークをつけた妊婦さんに配慮をお願いします。  
産後の方・小さいお子さまをお連れの方  
病気などで特別な食事の配慮が必要な方

### 【歯科保健・医療対策のチェック項目と症状】

p.57参照

	チェック項目
歯科保健・医療対策	<input type="checkbox"/> 口腔衛生や口腔機能の低下に配慮が必要な対象者がいる (配慮が必要な者：乳幼児・妊婦・後期高齢者・障害児者・要介護者・糖尿病等の有病者)
	<input type="checkbox"/> 飲料水・生活用水・洗口場所が不十分である
	<input type="checkbox"/> 歯ブラシ・歯磨き剤、コップ、義歯洗浄剤、義歯ケースなど資機材が不足している
	<input type="checkbox"/> 口腔清掃状況が不十分である
	<input type="checkbox"/> 歯痛や口内炎を訴える者、食事摂取が不自由な者がいる
	<input type="checkbox"/> 歯科診療所、巡回歯科チームなどの歯科保健医療体制がない



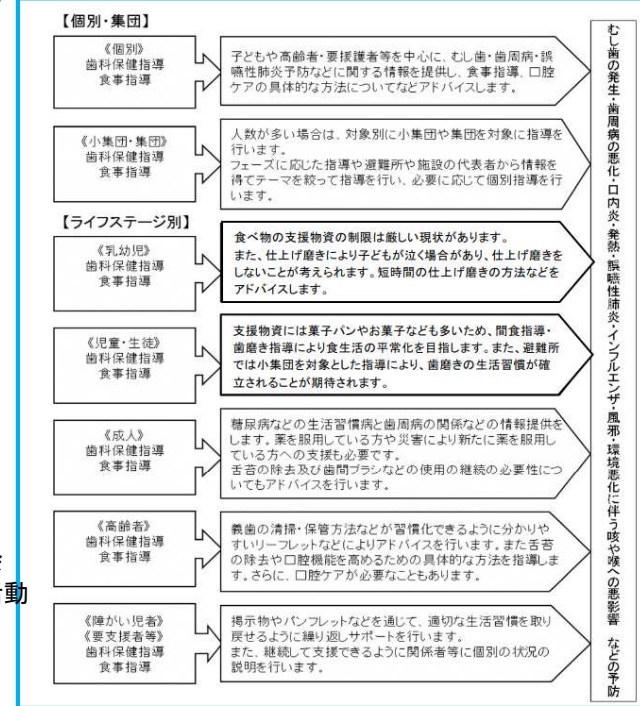
全国保健師長会  
災害時の保健活動  
推進マニュアル  
(令和2年3月)  
P57

表11 歯科保健におけるフェーズ分類と歯科の問題点

フェーズ	時期 (目安)	歯科の問題点	住民の声
0	発災～24時間	・口腔衛生用品不足	・逃げるのに精一杯で義歯を持ち出せなかった ・義歯ケースがなくなった
1	24～72時間以内	・歯科救護 ・義歯紛失 ・外傷等による歯牙損傷	・逃げる時に転んで顎を打って痛くて食べられない ・歯を磨きたくても水がない ・歯を磨くことを忘れていた 等
2	4日目～1か月	・口腔衛生状態悪化 ・義歯清掃管理不良 ・口腔機能低下 ・食事形態による食べ方支援が必要 ・感染予防 ・口腔ケア啓発	・支援物資に子ども用の歯ブラシが見つからない ・歯が痛いのが診てくれる歯医者がない ・歯を磨いていないので歯肉が腫れてきた ・口内炎が痛い ・水が冷たすぎて歯を磨きたくない ・予約していた主治医と連絡が取れない ・お菓子を好きだけ食べるが、避難所で注意しにくい ・喉がよく渴いて痛い、ほこりが多くて咳がよくでる ・洗面所が遠いので行けない ・義歯を外した姿を他人に見られたくないので、入れたまま磨きをしている ・災害後一度も義歯を外していない 等
3	1か月～6か月	・口腔ケア ・口腔機能向上支援の継続	・震災前は歯ブラシ・歯間ブラシで手入れをしていたが、災害後はする意欲がなくなった ・応急仮設住宅がかりつけの歯科医院から遠いので通院できなくなった ・子どものむし歯は気になるが歯科診療所が遠い ・お弁当の冷たい揚げ物などが固くて食べられない等
	6か月～	・継続した歯科健康相談・健康教育等	・地元の歯科診療所の診療が開始されたが、医療費のことが心配でなかなか受診できない ・応急仮設住宅からの交通機関が不便で、かかりつけだった歯科医院の受診は難しい ・予防は大切と思うが、今後の事が心配で歯を磨く意欲がなくなった 等

全国保健師長会  
災害時の保健活動  
推進マニュアル  
(令和2年3月)  
P58

図20 歯科保健活動のポイント



全国保健師長会  
災害時の保健活動  
推進マニュアル  
(令和2年3月)  
P59

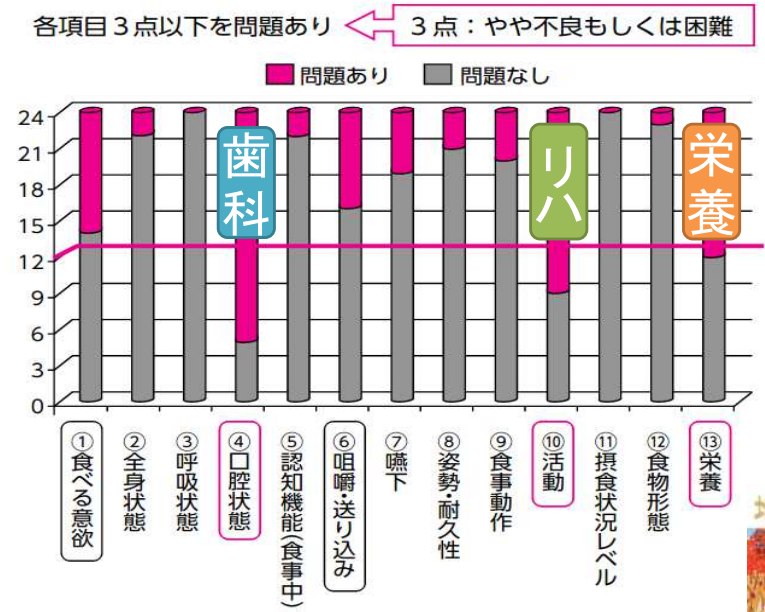
II 各期における保健活動の概要(風水害・噴火災害編)【表6】

	避難勧告等発令時 準備体制の確立 (避難情報発令) 避難準備・高齢者等避難開始、 避難勧告、避難指示(緊急)	フェーズ0 初期体制の確立 (概ね災害発生後24時間以内)	フェーズ1 緊急対策 - 生命・安全の確保 - (概ね災害発生後72時間以内)
		災害モードへの切り替え	
地域 の 概況	要支援者の避難・停電・雨音による情報伝達困難	●各フェーズで対応できなかった事項については引き続き次フェーズで実施する 人的被害・孤立者の救助・浸水・電気や交通等インフラの不全	被害者の全容把握・生活用品の不足
ニーズ	医療	◎傷病者の急増 ◎救命救急 ◎搬送	◎医療機能の低下 (治療・病棟数・従事者・医薬品) ◎DMATの交代・他の医療チームの派遣 ◎救護所の設置・運営
	保健	◎避難所の設置・運営 ◎低体温症	◎サービスの低下(水・従事者・各種解決手段) ◎感染症の流行 ◎熱中症 ◎歯科・口腔衛生 ◎メンタルヘルス
福祉	◎避難行動要支援者の避難 ◎従事者の帰宅困難	◎孤立者の安全確保 ◎サービスの低下(施設・従事者)	◎福祉避難所の設置 ◎サービスの低下
保健医療活動チーム等の例		・DMAT(医療への被害程度によっては派遣無) ・日本赤十字社	・DHAT ・DPAT ・JMAT ・その他の医療チーム

フェーズ2 応急対策 - 生活の安定 -  
(避難所対策が中心の時期)

フェーズ2 応急対策 - 生活の安定 - (避難所対策が中心の時期)	フェーズ3 応急対策 - 生活の安定 - (避難所から概ね仮設住宅入居までの期間)	フェーズ4 復興対策期 - 人生の再建・地域の再建 - (仮設住宅対策や新しいコミュニティづくりが中心の時期)	フェーズ5-1 復興支援期・前期 - 復興住宅に移行するまで - (コミュニティの再構築と地域との融合)	フェーズ5-2 復興支援期・後期 - 新たなまちづくり -
避難所の利用者・退出者の増加・ニーズの顕在化	避難者の移動・帰宅困難な避難者	復興・復興対策の実施		
◎地域医療への移行 ◎巡回診療	◎医療機能の回復			
◎食生活・食糧の確保 ◎生活不慣れ病 ◎慢性疾患の治療継続	◎保健医療活動チームの配属・調整・会議開催	◎メンタルヘルス ◎孤立	◎保健医療活動チームの活動終了	
◎福祉避難所の運営	◎サービス調整	◎ソーシャルキャピタルの醸成		
・保健師等チーム ・JDA-DAT	・こころのケアチーム ・JRAT ・JDAT	・保健師等チーム ・こころのケアチーム		

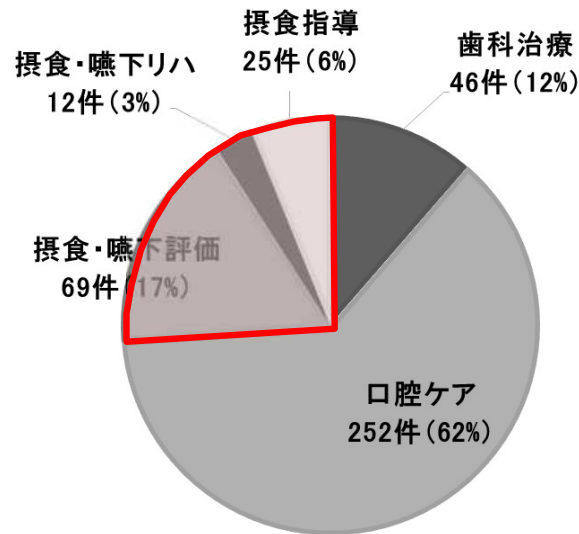
図2: 平成28年熊本地震後早期(2日～14日)におけるKTバランスチャートを用いた評価(n=24)



小山珠美(NPO法人から食べる幸せを守る会)、震災による避難所での二次的合併を回避するKTバランスチャートを使用した包括的支援の実際、<特集>多職種で取り組む災害時の食支援、地域保健 2017年11月号, 第48巻6号, 東京法規出版

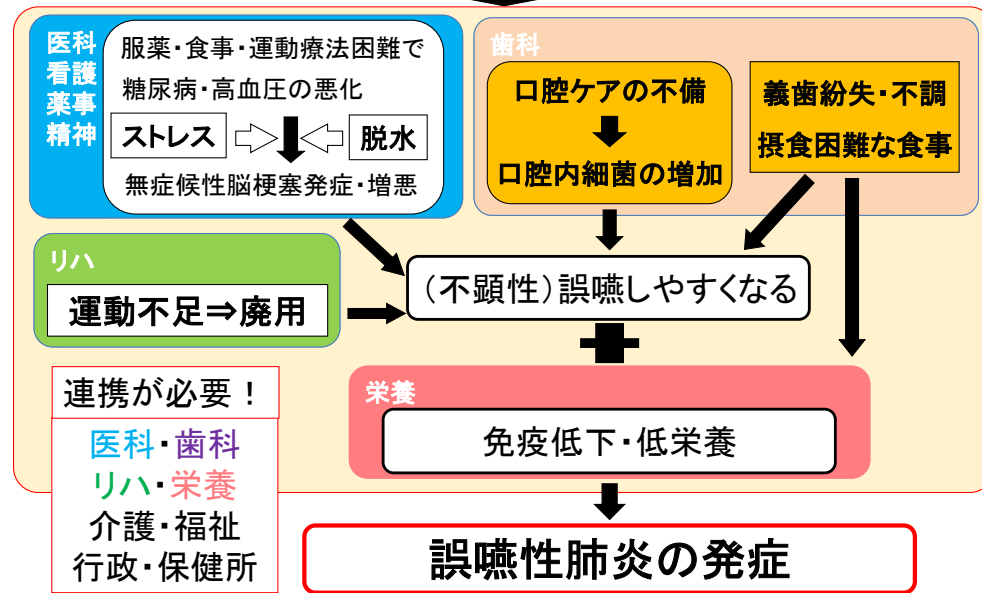


# 南阿蘇地区における歯科支援活動実績



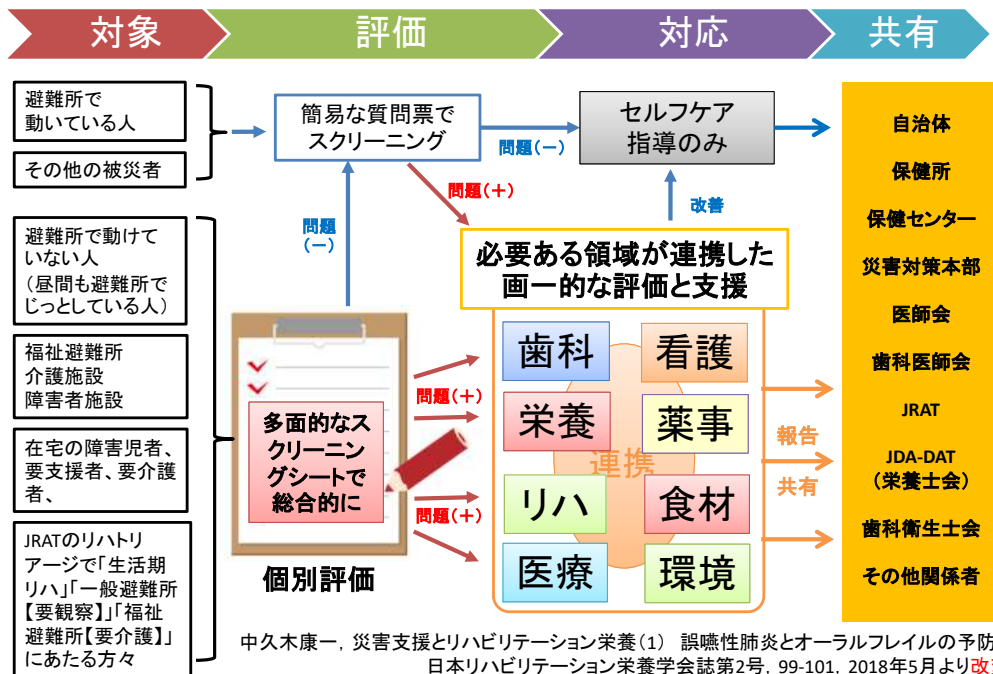
熊本地震後の南阿蘇地区において口腔機能支援を通じて多職種と連携した「食べる」支援活動の報告, 日本災害食学会誌, Vol6(2), 66-76, 2019

災害時の環境: ライフライン不備、食糧・水不足、睡眠・トイレ不足



足立平, 岸本裕充, 門井謙典. 大規模災害における気道感染予防の重要性. 日本口腔感染症学会雑誌. 2012; vol. 19-1 より改変  
中久木康一. 令和元年度九州地区連合歯科医師会研究事業・災害口腔医学研修会資料より

## 多職種での「食べる」支援における個人アセスメントと情報共有



## 災害時要配慮者に対する “「食べる」支援”の transdisciplinary approach

- 特にフレイル予防、誤嚥性肺炎予防には、被災直後からの“「食べる」支援”が重要
- それぞれの“「食べる」支援”が連携して補いあって、はじめて、安全かつ適切に栄養を確保する



# 歯科保健医療支援 直後は？

直後 プッシュ型／外部支援	歯科災害対策本部実働後 プル型／地域主導
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 歯科衛生用品の手配と口腔ケアの啓発・・・保健師や薬剤師、防災担当者など、初動の方々にお願いする以外にはないのでは？</li> <li>• 歯科のアセスメント開始・・・被災県内でも動けるチーム（大学歯学部など）、もしくは県外から派遣するチーム（隣県？カウンターパート県？）</li> </ul> <p style="color: red;">次にスムーズに動けるための準備でいい！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域の歯科医療機関の回復の確認</li> <li>• 誤嚥性肺炎や口腔機能低下のハイリスク群へのターゲットアプローチ（本来の災害救助法対象ではない？）</li> <li>• 地域での対応が可能なら地域を優先</li> <li>• 休日歯科診療／僻地医療的意味合いに近い？</li> </ul>

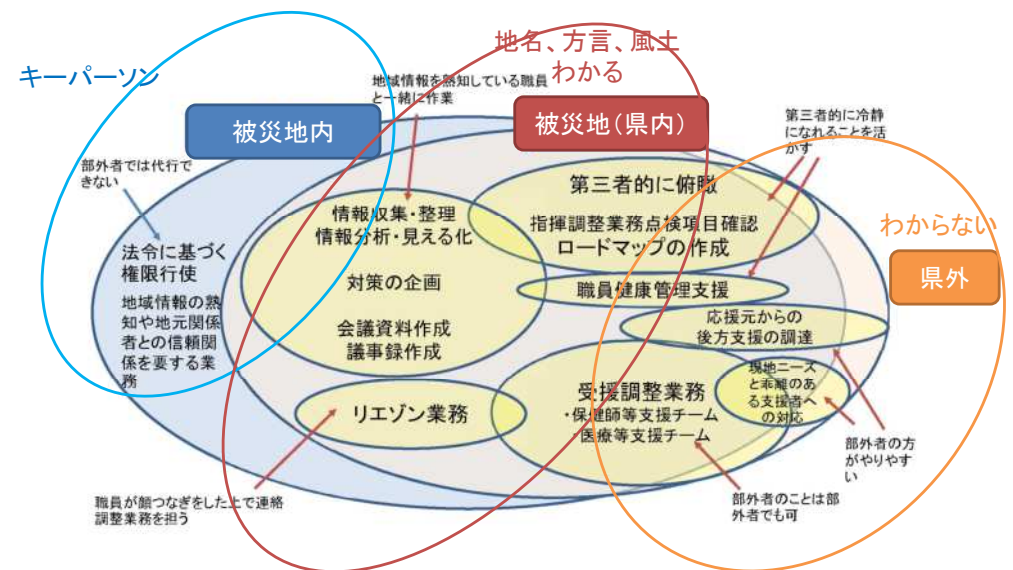
## 保健師・薬剤師・栄養士・防災担当者など、初動の方々にお願いしたいこと 歯科衛生用品の手配と口腔ケアの啓発

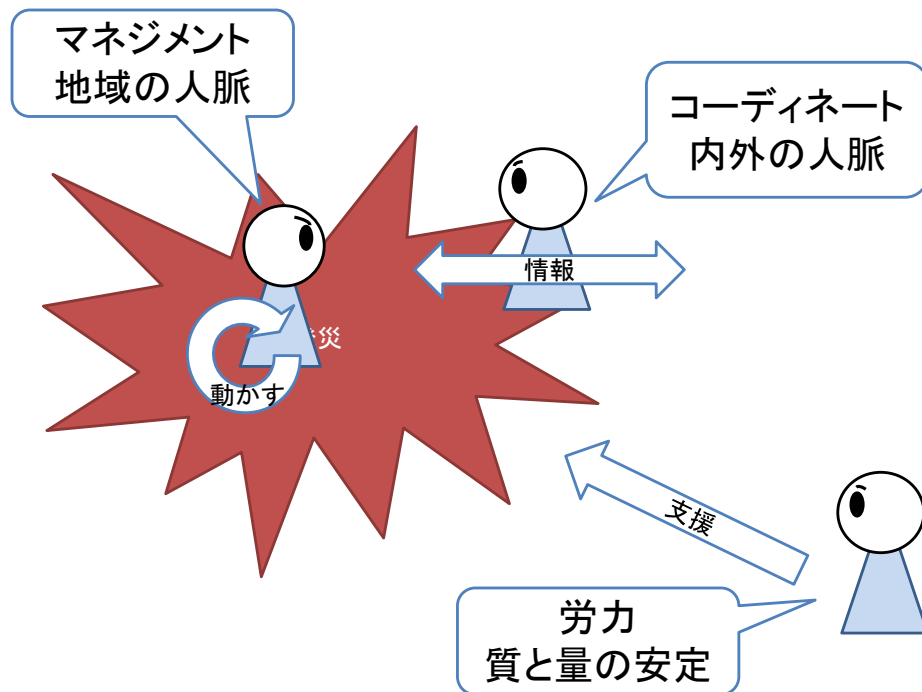
- 歯みがきを啓発するポスターを持参して掲示する
  - 対応の折りに、口腔衛生を保つことも災害時の健康維持にはとても大きなことであることをお伝えする
  - もし、食が進まない人、薬がうまく飲めない人、などがいたら、歯や口の問題が無いかなを尋ねて確認する
  - 要配慮者が口腔衛生を保てる物資や環境があるかどうかのチェック（歯ブラシなど、義歯清掃用品、洗面所、プライバシー、介助？）
- ↓
- 問題があれば、歯科関係者への連絡（歯科関係者が手配するなどの、後方支援は可能）

## 実際に活動するには、地域における保健医療介護福祉との連携が必要

- 災害時対応のコマンドーは地方自治体であり、都道府県や保健所、市町村との連携がなければ、せっかくの体制があっても、起動スイッチが押せない（自治体職員に歯科がいたとしても）
- 歯科内での体制作りと同時に、災害に関わる関連多職種での連携を進めるために、地域ごとの多職種での連携体制がつけられなければいけません。

## 地元（被災）と支援者（被災者・非被災者）における役割分担





## 都道府県

### 災害歯科保健医療連絡協議会

- 都道府県ごとの災害歯科保健医療連絡協議会（もしくは正式にその機能を業務に含む別の協議会）を組織し、連携とともにある体制作りを進める
- 災害時の歯科保健医療を含む合同災害対応研修を実施して抽出された課題をひとつずつクリアして行く
- これらができて初めて、災害時に後悔しない動きができる

## 支援体制 → 受援体制

- これらができれば、都道府県同士での広域派遣・受援にも対応できる
- 特に南海トラフ大震がなどの巨大災害に対応するためには不可欠

## 最終的には

- 地域でお互いに助け合うための体制のひとつとなる
- その時にはじめて、JDAT (Japan Dental Alliance Team) は、「日本歯科支援チーム」という正規の訳となる
- ここには、高齢、障害、貧困、国籍、性別、などなど、全ての格差を埋めるという理念がある

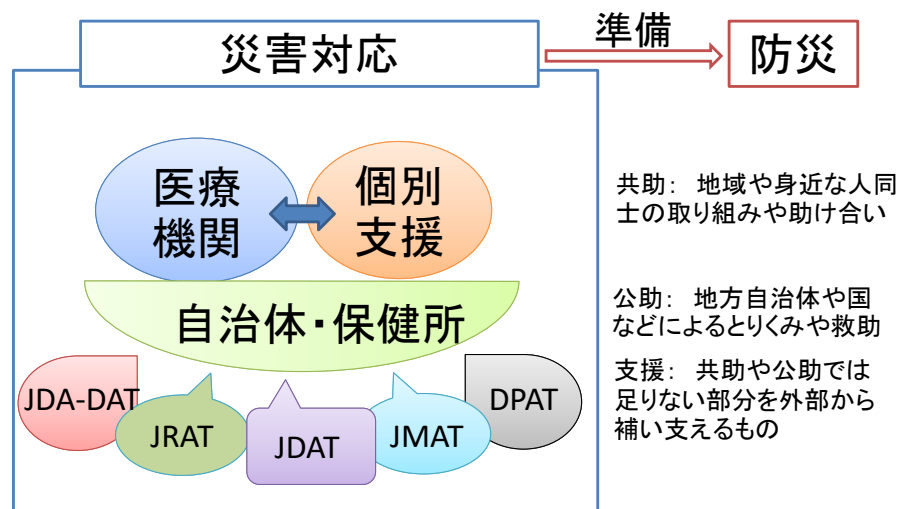
## 長期的な支援を考えると・・・

- 地域支援体制
- 地域包括ケア
- 防災体制・災害時体制
- 受援時にどう支援してもらうのがベストか
- ならば支援時にはどうするのが相手のベストか

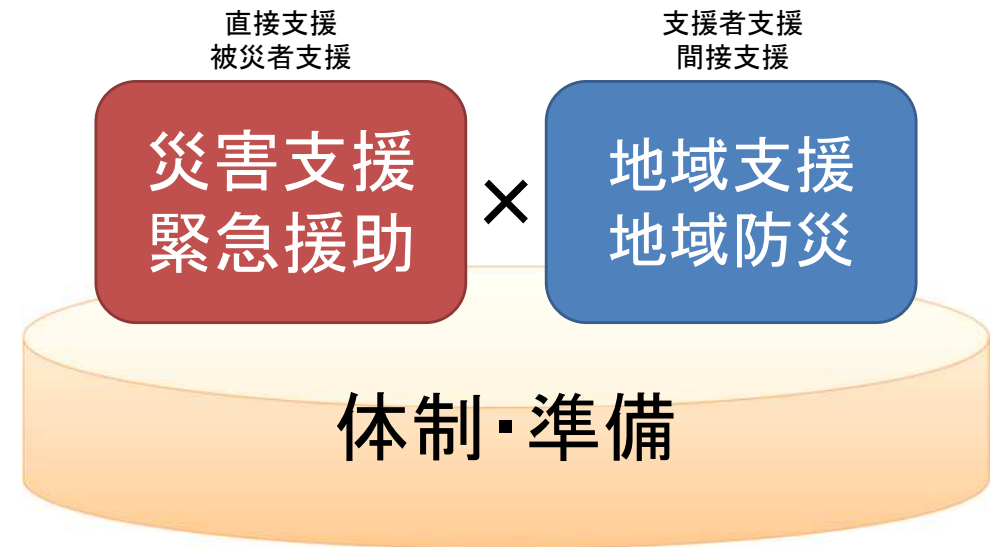
## 災害対策のキーワード

- 普段通り
- 普段をどこに設定するのか
- いかに普段通りをキープするのか

## 災害保健医療支援における関係者



## 災害対応 → 対策・防災





お近くの方々にも  
お伝えください  
配布等に  
許諾はス

いつもの生活を  
取りもどす！



いつもの生活を  
続けられる  
準備をしよう！

熊本地震で被災された皆さまへ  
いつもの生活を  
取りもどすための  
役立つ情報まとめ

政府からのお知らせ  
2016年4月28日発行  
2016年5月12日更新  
2016年5月18日更新

# 災害の「備え」チェックリスト



監修/内閣府政策統括官(防災担当)、内閣府男女共同参画局

## 非常用持ち出し袋 避難の際に持ち出すもの！

- 水
  - 食品  
(ご飯(アルファ米など)、レトルト食品、ビスケット、チョコ、乾パンなど：最低3日分の用意)
  - 防災用ヘルメット・防災ずきん
  - 衣類・下着
  - レインウェア
  - 紐なしのズック靴
  - 懐中電灯(※手動充電式が便利)
  - 携帯ラジオ(※手動充電式が便利)
  - 予備電池・携帯充電器
  - マッチ・ろうそく
  - 救急用品  
(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)
  - 使い捨てカイロ
  - ブランケット
  - 軍手
  - 洗面用具
  - 歯ブラシ・歯磨き粉
  - タオル
  - ペン・ノート
- 感染症対策にも有効です!! —
- マスク
  - 手指消毒用アルコール
  - 石けん・ハンドソープ
  - ウェットティッシュ
  - 体温計
- 一緒に持ち出そう!! —
- 貴重品  
(通帳、現金、パスポート、運転免許証、病院の診察券、マイナンバーカードなど)

- ### 子供がいる家庭の備え
- ミルク(キューブタイプ)
  - 使い捨て哺乳瓶
  - 離乳食
  - 携帯カトラリー
  - 子供用紙オムツ
  - お尻ふき
  - 携帯用お尻洗浄機
  - ネックライト
  - 抱っこひも
  - 子供の靴

- ### 女性の備え
- 生理用品
  - おりものシート
  - サニタリーショーツ
  - 中身の見えないごみ袋
  - 防犯ブザー／ホイッスル

- ### 高齢者がいる家庭の備え
- 大人用紙パンツ
  - 杖
  - 補聴器
  - 入れ歯
  - 入れ歯用洗浄剤
  - 男性用吸水パッド
  - デリケートゾーンの洗浄剤
  - 持病の薬
  - お薬手帳のコピー

- ### 備蓄品
- お家に備えておくもの！
- 食料や水(最低3日分!できれば1週間分) × 家族分  
保存期間の長いものを多めに買って置き、消費したら補充するという習慣にしていれば、常に食料の備蓄が可能!
  - 生活用品  
例えば、ティッシュ、トイレトペーパー、ラップ、ゴミ袋、ポリタンク、携帯用トイレ…など

ほかにも、家庭で必要なものは日ごろから備えておきましょう

誰にでも  
いつでも  
健康で幸せに生活する  
機会のある社会を

# 歯科はマイナリティ

- 歯科は小さい
- だからこそ、一致団結すれば変えられる
- 小競り合いしている場合ではない
- 口も歯も、どんな人間にもついている
- だからこそ、繋ぎのハブになれる可能性がある
- 多様性を認め、個々の尊厳を尊重しあう社会を ⇔ 排他的な、ナショナリズムではなく

# これからますます

- 歯科診療所に行かない／行けない人も増えていく
- デジタル化でオンライン診療もオンライン歯科検診も作って行かないといけない
- なおさら、歯科診療所中心ではない、地域貢献ができるかどうかで、必要とされるかが決まるようになる
- 歯科医師会は、そこに積極的に踏み込まなければ、未来は無い

日本歯科医師会 Japan Dental Association

国民のみなさま 歯科医師のみなさま 日本歯科医師会

活動要領・行動指針・規則  
根拠法・協定  
共通書式・アクションカード  
参考文献  
日歯8020テレビ  
障害研修ライブラリー  
eラーニング

動画  
日歯8020テレビ  
自分でできることは？  
今回はそんな中でもお口の健康を守る為に自分自身でできることをお伝えします  
災害時の歯みがき方法

日本歯科医師会 Japan Dental Association

歯8020テレビ  
歯とお口の情報

災害時こそ大切！  
お口のケア  
<1>備えておくこと  
<2>自分でできること

動画で一般向けに平易につくられています（それぞれ6分ほど）  
過去に災害時に地元ケーブルTVで放映されたこともあります

災害時こそ大切！お口のケア  
ダウンロード 0:08 <1>備えておくこと (60.0MB)  
ダウンロード 5:38 <2>自分でできること (67.2MB)



No.1906

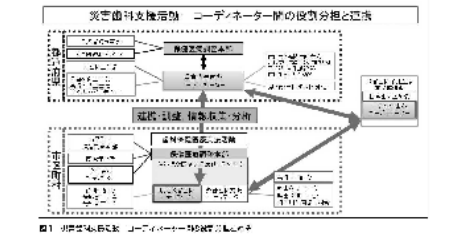
# 大規模災害時の歯科的 コーディネート

～最も重要なことは？～

中久木 謙一  
牛島 盛  
田 大祐  
久保山 裕子  
人田 秀人

はじめに

日本歯科医学会が主催する「大規模災害時の歯科的コーディネート」は、大規模災害時の被災地において、被災者の歯的ケアを円滑に行うための実践マニュアルです。被災地での活動は、被災者の生活の安定と、被災地の復興に大きく貢献します。本マニュアルは、被災地の状況に応じた実践的な内容を盛り込み、被災地の歯的ケアを円滑に行うための実践マニュアルです。被災地での活動は、被災者の生活の安定と、被災地の復興に大きく貢献します。



No.1906 (令和元年度)

# 大規模災害時の 歯科的コーディネート

日歯会員の方は無料で受講できるはず  
ぜひ、スタッフとともに、  
ご視聴ください

日歯Eシステム  
生涯研修ライブラリー

公益社団法人 日本歯科衛生士会

English お問い合わせ サイト

一般の方へ

日本歯科衛生士会概要 入会案内 研修・学習・認定 歯科衛生士だより・学生だより 日本

## 災害時、私たちにできること

被災者の避難生活で生じます。イア登録の

共通書式などは全てこちらに載っています  
歯科医師もこちらからご確認ください

Link 災害歯科保健歯科衛生士登録

被災状況に合わせて歯科衛生士の支援活動を円滑に行うための実践マニュアルです。基本姿勢や平時の備え、現場での具体的な行動手順などをまとめました。

PDF 災害歯科保健活動 歯科衛生士実践マニュアル2021

# マスクをしたままできる お口の体操

～ 唇や舌、頬やのどの筋力アップをすることは全身の健康へとつながります。美味しく安全に食べて健康に過ごしましょう。～

①唇をのりせ前に突き出す ②左右にしっかりと引く ③大きく開ける 唇を閉じ、唇の内側で舌をぐるぐる回す

①頬をふくらます ②頬をへこませる ③左右交互に頬をふくらます ④唇をしっかりと閉じ上下交互に唇をふくらます

開口訓練 ①口を最大限に大きく開ける ②10秒間 保持する ③10秒間 やすむ ④②③を繰り返す

前舌保持嚥下訓練 (4回ほど繰り返す) ①舌を少し前出し、唇を閉じる (舌を強く吸い込むように意識します) ②そのまま、つばをコップと飲み込む

食前や空き時間に5回～10回行いましょう

日本歯科衛生士会

マスクをしたままできるお口の体操(動画)

「マスクをしたままできるお口の体操」

お口の体操

# いつかのもののために、いまできる学びを。

災害が発生したとき、歯科衛生士としてできること、すべきことは。本コンテンツでは、災害支援の仕組みや地域保健活動の概要をはじめ、災害時の歯科の役割と歯科衛生士の活動の実例、多職種との連携の取り方などを、幅広くフォローしています。いつかのものにも備えて、いまできる学びがここにあります。

## 災害歯科保健 公開中!!

多彩なテーマが小分けで学びやすい! DH-KENの災害歯科保健

1 災害時の保健医療支援とは	23分
2 災害時の歯科支援の仕組み	15分
3 災害時の支援における連携	17分

約3時間

https://dhken.jp

# DH-KEN

DH-KENは、歯科衛生士のためのeラーニングサイトです。

災害歯科保健

これ全て見て学んだ方は、日衛に登録されます

歯科衛生士 2970円  
日衛正会員 1782円  
歯科医師その他 4455円

災害時の清潔・健康ケア情報



災害時の清潔・健康ケア (印刷)

災害時の手の清潔、オーラルケアについてご案内し  
るパンフレットのご案内

災害時の清潔・健康ケア

災害時は、避難生活や水不足など、生活していく上で衛生上のリスクが高まるため、体を清潔に保ち、健康に留意することが重要です。体力のないお子様や高齢の方は特に注意が必要です。

災害時の手の清潔

多くの人が入り出す避難所などでは、いつもより手が汚れがちです。手を清潔に保ちましょう。



災害時のオーラルケア

オーラルケアが不十分だと、ムシ歯や歯周病、感染症や動脈硬化などのリスクも高まります。

- ▶ ハブラシがないとき 歯ぐきや歯肉に違和感がないことがベスト。
- ▶ お子様か薬をつけないこと



- ▶ ハブラシがあるとき
- ▶ 入れ歯をお使いの方は



災害時の手の清潔、オーラルケアについてご案内し  
るパンフレットのご案内

お客様相談窓口

**方**

覚えてください、防災にオーラルケア。

健康は、おうち、からだ。災害時の備えにオーラルケアを。

SUNSTAR

**歯みがき、お口のケアはあなたの命を守ります！**

<p><b>肺炎を防ぐために歯みがきを！</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お口が清潔でないと細菌が増殖し、肺炎になりやすく、全身の病気の悪化につながります</li> <li>高齢者は特に注意が必要です</li> </ul>	<p><b>入れ歯をきれいにして肺炎を防ぎましょう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お口を清潔に保つには入れ歯のお手入れが大事です</li> <li>食後に入れ歯をきれいにしましょう</li> <li>夜寝るときは入れ歯をはずしましょう</li> </ul>
<p><b>ハブラシがないとき</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食後に少量の水やお茶でうがいをして</li> <li>ハンカチやティッシュで歯の汚れをとるのも効果があります</li> </ul>	<p><b>だ液を出す工夫を</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>だ液はお口の中をきれいに保つはたらきがあります</li> <li>耳の下、ほお、あごの下を手でもんだり、あたためると、だ液が出やすくなります</li> </ul>
<p><b>水が少ないときの歯みがき</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>約30mlの水を用意</li> <li>水でハブラシをゆめらして歯みがきします</li> <li>含み間にハブラシの汚れをティッシュでふきとります</li> <li>コップの水を少しずつお口に含み、2〜3回おいて、すすぎます</li> </ul>	

監修：神戸常盤大学短期大学部 口腔保健学科 足立平先生  
提供：一般財団法人 サンスター財団、サンスターグループ

SUNSTAR

Special topic

**被災したとき、何ができますか**  
「準備しておけばよかった」と後悔しない

災害発生時に求められる対応

災害発生直後の状況

voice

**水害後の地域住民のお口を守る！**  
～気づかされたこと・これからやらなければ～

避難先でやが

被災したらいきなりコロナ！  
立ち回ってきたら今度は災害！

DH Style 2020年12月～2021年3月号

Special topic

**東日本大震災後の女川町における歯科保健事業**

東日本大震災から10年が経過しようとしています。女川町は被災者や被災者家族が暮らす被災者世帯が約1,000世帯あり、多くの被災者世帯が被災者世帯となりました。被災者世帯の増加に伴って、被災者世帯の歯科保健事業の重要性がますます高まっています。

**女川町の震災後10年の歯科保健事業**

震災から10年が経過しようとしています。女川町は被災者や被災者家族が暮らす被災者世帯が約1,000世帯あり、多くの被災者世帯が被災者世帯となりました。被災者世帯の増加に伴って、被災者世帯の歯科保健事業の重要性がますます高まっています。

地域保健 7 2022

**災害時の保健活動を再考する**  
～保健師が力を発揮するために地域保健が不可欠～

**避難所の現状と課題**  
～保健師が知っておきたいこと～

避難所の現状と課題

- 24 わが国の避難所の課題
- 25 災害時に母子を支えるために
- 26 避難所の歯科保健の重要性
- 27 JRAT について
- 28 命を守る避難所のトイレ対策
- 29 避難所での性的マイノリティの人々を取り巻く課題

**避難所の現状と課題**

**避難所の歯科保健の重要性**

避難所での歯科保健の重要性

中久木康一

東京医科大学  
歯学部 歯科  
救急歯科学専攻 准教授 (救急歯科)

医歯薬出版

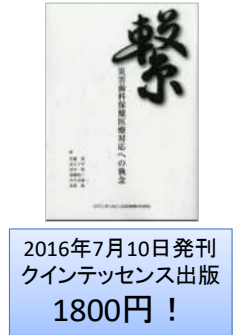


砂書房



災害歯科保健医療  
標準テキスト  
2021年12月発刊！

2015年6月15日発刊  
一世出版  
2000円！



2016年7月10日発刊  
クインテッセンス出版  
1800円！



2021年12月24日発売！  
一世出版  
本体2,900円(税込み 3,190円)

Contents

はじめに	
<b>第1章 災害歯科保健医療</b>	
1. 災害歯科保健医療概論	12
2. 災害歯科支援チームの実現に向けて - 関係機関・団体における連携の重要性 -	20
3. 保健医療支援におけるロジスティクス担当者の役割	28
4. 災害時における歯科保健隊の対応	34
5. 災害時の歯科保健医療活動 - 目的、評価、修飾 -	40
<b>第2章 国における災害対応</b>	
1. 大規模災害時における政府の初動対応について	50
2. 災害時における保健医療の対応	54
3. 厚生労働省における災害医療体制	62
4. 防衛省・自衛隊における災害派遣活動	70
<b>第3章 活動における連携・共有</b>	
1. 災害時の歯科保健医療活動 - 歯科医団における役割分担、多職種での連携 -	76
2. 日本医師会の災害対応	82
3. サイコロジカル・ファーストエイド - 心理的応急処置: PFA -	96
4. 歯科医師のための災害復元法学のすすめ	104
<b>第4章 災害時における府元確認</b>	
1. 歯科における府元確認体制	114
2. 警察における大規模災害時等の多数傷病者等の歯科診療による府元確認の有効性	126
3. 海上保安庁における歯医確認	128
<b>参考資料</b>	
・JDAT 目的、趣旨	133
・施設・避難所等 歯科口診支援 ラピッドアセスメント書 (集団・派遣)	134
・歯科保健医療支援アクションカード	136
・Q&A 集	142
・用語/用語集	145

日本災害時公衆衛生歯科研究会  
<http://jsdphd.umin.jp/>



日本災害時公衆衛生歯科研究会  
Japanese Society for Disaster Public Health Dentistry (D

ポスター・パンフレット 記録票・資料 研修教材 研修会記録 書籍・報告書 ML登録

災害時の歯科保健に必要なが... 研修会動画・配布資料など  
研修動画・活動動画・研修準備資料など  
アセスメント票・アクションカード・パンフ・ポスターなど

書籍・研究報告書など

2015年6月15日発刊  
一世出版  
A3判 2000円

日本災害時公衆衛生歯科研究会  
ML登録係  
jsdphd-admin@umin.net

メーリングリスト  
各種書式・パンフレット  
研修媒体動画  
研修会資料・動画

災害歯科保健 Disaster Oral Health [YouTube]

●災害歯科保健 Disaster Oral Health [YouTube]  
※YouTubeにリンクが飛びます

○ 災害歯科 個別複数アセス記載 セルフワーク

- ・個別複数アセス記載 アセスメント全体の概要
- ・個別複数アセス記載 セルフワーク事前解説
- ・個別複数アセス記載 事例1+事例1の解説
- ・個別複数アセス記載 事例2+事例2の解説
- ・個別複数アセス記載 記載の注意事項

○ 災害時の避難所における歯科保健医療個別アセスメント

- ・Scene 1 高齢の女性
- ・Scene 2 幼児がいる女性
- ・Scene 3 歯が痛い男性
- ・Scene 4 高齢の母とその娘
- ・Scene 5 じっとしている男性
- ・Scene 6 高齢者の介護者

○ 活動記録紹介動画

- ・2016年 熊本地震
- ・2017年 九州北部豪雨

日本歯科衛生士会 協力

動画 5分  
1カ月の活動の流れ

動画 10分  
組織的間の役割分担や準備